

ChatGPT o3-mini-high

共有する

Hi

あなた:

アシックスの成長戦略への知的財産部門の貢献実績

ChatGPT:

アシックスの成長戦略に対する知的財産部門の貢献について具体的にどのような情報をお探しでしょうか？

例えば:

- 特許や商標の出願・取得状況
- 知的財産を活用した競争優位性の確立
- 研究開発と知的財産戦略の関連性
- 他社とのライセンス契約や訴訟事例

どの観点からの情報が必要か、教えていただくとより詳しい情報をお探しできます。

あなた:

成長戦略の策定への貢献実績、成長戦略の実行における貢献実績

ChatGPT:

アシックスの成長戦略に対する知的財産部門の貢献について調査します。

具体的には、以下の観点で情報を収集します。

- 知的財産部門が成長戦略の策定にどのように関与しているか（特許・商標ポートフォリオの強化、新技術開発支援、競争優位性の確立など）。
- 成長戦略の実行における貢献（知的財産のライセンス活用、他社との提携・訴訟リスク管理、ブランディング・マーケティングへの寄与など）。

調査が完了次第、報告いたします。

Research completed in 8m· 17 件の情報源

アシックスの成長戦略における知的財産部門の貢献

成長戦略の策定段階での貢献

- **特許・商標のポートフォリオ戦略:** アシックスは中期経営計画で「戦略的な知的財産の取得・活用、特許ポートフォリオの構築」を掲げ

assets.asics.com

、積極的に特許・商標を取得してポートフォリオを強化しています。実際、2019～2023年にかけて特許保有件数は大幅に増加し、2023年には全世界で1000件超の特許を保有する規模に達しています

assets.asics.com

。商標についても「ASICS」「アシックス」ブランドや製品名を世界各国で登録し、自社ブ

ランド資産を体系的に保護しています。こうした知財ポートフォリオの充実により、新事業分野や重点領域（デジタル、パーソナル、サステナブル）での技術競争力を下支えし、成長戦略を支援しています

assets.asics.com

finance-frontend-pc-dist.west.edge.storage-yahoo.jp

。

- **新技術の開発・取得の支援:** 知財部門は製品開発の初期段階から R&D 部門と連携し、他社権利を侵害しない独自性の高い技術創出を後押ししています

corp.asics.com

。例えば、トップアスリート向けシューズ開発プロジェクト（社長直轄の「C プロジェクト」）には知財部員が参画し、そこで生まれた高速ランニングシューズ「METASPEED」シリーズでは、開発段階から知財戦略を検討しました

jipa.or.jp

。その結果、METASPEED には独自のカーボンプレート構造やミッドソール素材に関する特許が出願・取得され、意匠権や商標権（製品名「METASPEED™」）とも組み合わせた“知財ミックス”で保護されています

jipa.or.jp

。このように知財部門は新技術・製品の開発プロセスで発明の発掘や権利化をリードし、必要に応じて社外の技術取得（M&A や提携）の知財デューデリジェンスも担当することで、成長戦略に直結するイノベーション創出を支援しています。

- **知財を活用した競争優位性の確立:** アシックスは「技術を強い特許で守るだけでなく、『知的技術』へと昇華し戦略的に企業価値向上に貢献する」ことを重視しており

finance-frontend-pc-dist.west.edge.storage-yahoo.jp

、知財部門は競合他社の特許・市場動向を分析する「IP ランドスケープ」を活用して事業戦略を提言しています

finance-frontend-pc-dist.west.edge.storage-yahoo.jp

。例えば、競合他社の特許網を分析して未開拓の技術領域（ホワイトスペース）を見つけ出し、そこで特許出願を促進することで知財面での優位性を確立しています。また、取得した特許権は自社製品の模倣や技術流用に対する牽制力となり、競合に対する防御壁として機能します

corp.asics.com

。実際に METASPEED 開発では、ナイキ社など他社の特許回避と独自技術の特許化を両立させ、知財で競争上のポジションを強化しました。その結果、生み出されたレーシングシューズは 2022 年の世界陸上競技選手権で好成績に繋がるなど、製品競争力の向上にも寄与しています

jipa.or.jp

jipa.or.jp

。このように知財部門は知的財産の取得・活用を通じてアシックス製品の差別化と競争優位の確立に貢献しています。

- **R&D 部門との連携:** 知財部門は「知財経営」を掲げるアシックスにおいて、研究開発と経営を橋渡しする重要な役割を担います

yoroziupsc.com

。同社では 2020 年に社長直轄の「知財戦略委員会」を設置し、各部門のトップ（研究開発含む）と知財責任者が定期的に集まり、中期計画の重点テーマごとに知財戦略を議論しています

yoroziupsc.com

jipa.or.jp

。この委員会を通じて、事業戦略と知財活動が合致するよう方針が練られ、経営層にも知財観点の意思決定が組み込まれています。また、知財部門はアシックススポーツ工学研究所（主要な R&D 拠点）と日常的に連携し、発明の抽出や特許出願手続きを支援しています

corp.asics.com

。研究者・開発者に対する知財教育にも力を入れており、社外団体（日本知的財産協会＝JIPA）の研修に R&D 人員を参加させるなどして発明創出力向上を図っています

jipa.or.jp

。この密接な連携により、R&D 成果を的確に知的財産として権利化し、経営資源として活用する仕組みが構築されています。

成長戦略の実行段階での貢献

- **知的財産のライセンス戦略（提携・コラボレーション）:** アシックスは自社の技術やブランドを他社との提携にも積極的に活用し、新たな価値創造を図っています。例えば、スタートアップ企業を対象としたアクセラレータープログラムを実施し、自社のテクノロジーやブランド資産を活用した製品・サービス案を募集しました

corp.asics.com

。選出された企業とは実証実験や事業化検討を進め、必要に応じて技術ライセンス供与や共同開発契約を結んでいます

corp.asics.com

。また、外部の先端技術を取り込むため M&A も活用しており、2016 年には米国のランニングアプリ「Runkeeper」を約 8500 万ドルで買収しデジタル領域の技術と IP を取得しています

corp.asics.com

。このような取り組みにおいて知財部門は、提携契約での知的財産権の取り決め交渉や、買収対象企業の保有特許・商標の調査（デューデリジェンス）を担当し、スムーズな提携・コラボレーション戦略の遂行に貢献しています。さらに、自社ブランドと他ブランドのコラボレーション（例：ファッションブランドとのシューズ共同企画）でも、商標や意匠の権利管理を行いブランド価値を高めるサポートをしています。

- **知的財産の保護・管理（訴訟リスク管理・侵害対策）**：知財部門はグローバル展開する事業を知財面から守るべく、徹底した権利保護とリスク管理を行っています。その顕著な例が模倣品対策です。2018年には中国において、アシックスの商標に酷似した商標を悪用して偽シューズを販売する業者に対し、北京市当局と連携して一斉摘発を実施し、わずか1日で60店舗・3万足以上の偽物を押収する成果を上げました

corp.asics.com

。この取り組みは中国のメディアでも大きく報道され、政府の年次報告書にも取り上げられるなど、他の日系企業の模倣品対策の模範ともなりました

corp.asics.com

。また、模倣品根絶のために中国での悪意ある商標出願（いわゆる商標の先取り・トロール行為）にも対抗しており、2016～2018年にかけて多数の異議申立てを行って不正な商標登録を阻止しました

corp.asics.com

。加えて、自社商標の認知度向上策（官公庁誌への広告掲載）や現地法改正を促すロビイング活動も展開し、制度面からもブランドを守る努力をしています

corp.asics.com

。社内的にも、製品開発の段階で他社権利のクリアランス調査を徹底することで訴訟リスクを低減し

corp.asics.com

、万一紛争が発生した場合には国内外で適切に法的措置を講じています。こうした知財保護体制が評価され、アシックスは2020年に特許庁の「知財功労賞（商標分野）」を企業として初受賞しています

corp.asics.com

。このように知財部門は権利侵害の未然防止と発生時の対応、さらに模倣品排除による市場防衛を通じて、成長戦略の土台であるブランドと収益を守っています。

- **ブランディング・マーケティング戦略への貢献**：アシックスは「ASICS というブランド自体が当社にとって最大の知的財産」と認識しており

保しています。例えば、アシックスの象徴であるストライプ模様や「Onitsuka Tiger (オニツカタイガー)」ブランドも各国で商標登録され、模倣や不正使用を排除することでブランドイメージを守っています。知財部門は「ブランドを守り、育てる」ことを使命に掲げ

corp.asics.com

、模倣品排除によって消費者の信頼を維持しつつ、競合との差別化につながるブランド独自のアイデンティティ構築を支援しています。これはマーケティング戦略上も重要であり、安心して使える高品質ブランドという評価は顧客ロイヤルティ向上や市場拡大に寄与します。その上、近年は知財活動の成果や戦略を統合報告書などで積極的に開示する方針を取り

yoroziuipsc.com

、ステークホルダーに対してブランド価値向上への取り組みを発信しています。知財と経営を一体化させた「知財経営」の実践によりブランド力強化→顧客基盤拡大→業績向上の好循環を生み出すことが、アシックスの成長戦略における知財部門の最終的な貢献と言えます

jipa.or.jp

corp.asics.com

。

<hr>

以上のように、アシックスでは知的財産部門が特許・商標の戦略的取得から権利活用、新製品開発支援、模倣品対策、ブランド保護まで幅広く関与し、成長戦略の策定・実行の両面で重要な役割を果たしています。その結果、生み出された独自技術と強固なブランド力により、グローバル市場での競争力強化と安定成長に寄与しています

jipa.or.jp